

限定モデル PEUGEOT 208 First Selection を発売



魅力的なエントリーグレード

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社（本社：東京都目黒区、社長：クリストフ・プレヴォ）は7月3日、エントリー価格の限定モデル「PEUGEOT 208 First Selection」を全国限定 240 台で発売いたします。

208 First Selection は「初めての輸入車、初めてのプジョー車」をキーワードに、6速オートマチック・トランスミッションとアクティブシティブレーキを装備しながら、199 万円（消費税、ペイントオプション代を含む）という戦略的な価格を設定したエントリーモデルです。

ベースモデル 208 Style 6AT との装備の違いは、バックソナー、レーザーステアリング、スーパーテイルテッドガラスのみで、エクステリアデザインを始め、プジョー独自のインテリアコンセプト“i-Cockpit”、新タッチスクリーンはそのままとしています。またオートヘッドライト、レインセンサー、クルーズコントロールなども標準とし、エントリーグレードでありながら、ひとクラス上の快適性を提供。ボディカラーには人気の高い 3 色、リオハ・レッド、ダーク・ブルー、ピアンカ・ホワイトを用意いたしました。

モデル名		エンジン	最高出力	ギアボックス
5 ドア	208 First Selection	ターボチャージャー付き 直列 3 気筒 DOHC 1199cc	81kW (110ps) /5500rpm	6 速オートマチック

*スペックは 208 style 6AT と同一です。

1.2ℓ 3気筒ターボが三度目の“Engine of the Year”を受賞



**1-litre to 1.4-litre
PSA Groupe
1.2-litre three-cylinder turbo**

110ps と 130ps のバリエーションを持つ 1.2 PureTech は、このたび限定モデルを発表したプジョー208を始め、70カ国以上の市場において90を超える車種に搭載されて活躍しており、PSAグループの躍進の立役者でもあります。低回転域から力強いトルクを発生する一方で、ガソリン・パテイクュレート・フィルター（GPF）を装備し、粒子状物質の排出量を大幅に低減しています。この排ガス対策は2020年の欧州・中国の規制に先んじて対応するものです。さらに、250bar 高圧噴射による精密な燃料霧化や新しいターボチャージャー、機械損失低減のためのフリクション対策、コンパクトなエンジンサイズゆえのエアロダイナミクスへの貢献などとあわせ、その高い環境性能と動力性能の両立は、受賞の大きな理由に挙げられています。

シュトゥットガルトで開催された第18回エンジン・オブ・ザ・イヤー・アワードにおいて、PSAグループの1.2ℓ 3気筒ターボ PureTech ガソリンエンジンが、1~1.4ℓのカテゴリーにて3回連続となる栄冠を手に入れました。

110ps と 130ps のバリエーションを持つ 1.2 PureTech は、このたび限定モデルを発表したプジョー



PEUGEOT Press Contact

<http://press.peugeot.co.jp/>

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社

広報室 八木亮祐 / TEL03-6412-7362 / publicity@peugeot.co.jp

報道関係以外のお問い合わせ / プジョーコール (TEL : 0120-840-240)

PEUGEOT

顧客へのブランドのコミットメントは、爽快で情熱に満ちたドライビング、個性的なデザイン、そして妥協のない品質を示しています。これらのDNAは、プジョーの全てのモデルに注がれています。世界160カ国で1万を超える拠点を展開するプジョーは、2016年世界販売において123%アップの191万9460台に達しました。プジョーは世界へ向け多彩な商品を提供するメインストリーム・ブランドを目指し、緻密なデザイン、高い品質水準、そしてエモーションを融合しています。1889年に始まったブランドの歴史は、本年ダカールラリーにおける3008 DKRの歴史的な1-2-3フィニッシュによって新たな栄誉を獲得いたしました。